

支える人を支える 京都の 福祉

『京都の福祉』は福祉関係者に福祉の課題や情報を提供する
「京都府社会福祉協議会」(府社協)が発行する広報誌です

2019
09 月号
no.580

4者対談

▼4ページ

「当事者としての家族」をどう生きるか？



- 今月の「ふくしびと」は介護福祉士・後藤裕生さん ▼7ページ
- 福知山式 子ども食堂の続け方 ▼2ページ

もえくさ



T.S

「老後2千万円が必要」、金融庁の審議会WGが試算し公表した(6月3日)。このニュースは人生設計のうえで不安を感じる人も多く、参議院議員選挙の争点になった。家庭や地域、職場の中でも大きな話題となっている。

しかし、怒りや諦め、無力感などに留まり、「安心の老後を支える年金制度の実現」を掲げて積極的に行動しようとする人はそう多くはない。むしろ「年金保険料を払うのは無意味」と言う人もいるが、他人事では済まされないはずだ。

たしかに年金制度自体が複雑だが、政府や政治家は、国民に情報開示の徹底と分かりやすい十分な説明を行っているか。そうでなければ、国民は国政のあり方を決めることは難しい。

政治は民主的な選挙制度と政治過程が重要であり、国民が選挙権を十分に行使できるためには、知る権利の保障が不可欠である。年金問題などの政策も先ずは国民間で論議できる場作りなど、主権者である国民が政治意思を形成し判断できるよう環境整備することが大切だと思う。

福知山式

子ども食堂の続け方



地域の高齢化、担い手不足と言われる中、学生、施設と社協のコラボによる元気な子ども食堂があると聞いた。それぞれの力を持ち寄る強みとは何か？話を聞きに福知山へと向かった。

学生 福知山公立大学2年生 福島 幹人さん
 学生 福知山公立大学3年生 岩根 拓海さん
 市社協 福知山市社会福祉協議会 武田 彩さん
 食堂 にじイロ食堂(福)しあわせネットワーク 古口 貴之さん

3者の立場からの思い

やりたい人

子どもたちのために
なにができるか

「きつずとうに一（意：子どもを支える）」という団体名で活動しており、子どもと接することが好きなメンバーばかりで、活動に対しても思いが熱いです。食事の提供はもちろん、子どもたちと一緒に遊んだり勉強したり、「子どもたちのあたたかい居場所づくり」のために何ができるか考えています。

岩根さん

つなぐ人

やりたいという火が消えないよう伝えることは伝えて

この活動をずっと継続していくにはどういうスタイルがいいのか、学生には仕組みづくりをじっくり考えてもらいました。無理をすると活動自体が楽しくなくなってしまうので、できることは学生でやってほしいという思いがあるので、前に出さず、でも伝えるところは伝えて、というのを心がけています。

武田さん

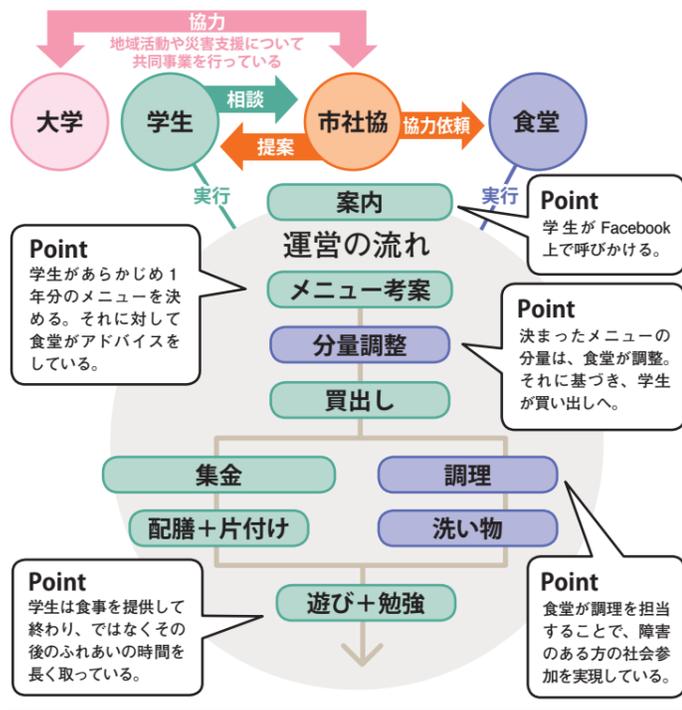
協力する人

あくまでも主体は学生
しっかり考えて取組を

私どもの母体が社会福祉法人で、ずっと地域貢献したいという思いがあり、話を聞いた当初から協力を前向きでした。ただ学生に口酸っぱく言っていたのは、中途半端な気持ちでやるのはよくないということ。楽しみにしている子どもたちのために、しっかり考えてやっていこうと話しています。

古口さん

ふくちやま子ども食堂運営の構造



障害者の就労支援に取り組み(福)しあわせネットワークが、プロジェクトに賛同した。店長の古口貴之さんは当時を述懐する。「学生から話があった時、面白いなと思ったんです。だから是非協力しようとも学生には、やるのであれば最後まで責任を持つてやろうと強く言いましたね」紆余曲折を経て始まった「ふくちやま子ども食堂」。「子どもたちの楽しかったとか、次もまた来るよ、という言葉が一番の励みになる」と岩根さんは言う。それぞれの思いや強みを生かした無理しない活動が繋がって地域の力になる。思いをつなげる社協の仕事は、他にも応用できるのではないだろうか。



子どものあたたかい居場所をつくるために

時計の針が午後5時半を回ると、子どもたちが1人、2人と集まってきた。それを笑顔で迎える大学生たち。子どもたちも顔馴染みの学生を見つけるとうれしそうに駆け寄り、おしゃべりをしたり、じゃれ合ったりして、元気な声と明るい笑顔が広がっている。

2018年から福知山公立大学の食堂で、月1回のペースで開催されている「ふくちやま子ども食堂」。「子どもたちのあたたかい居場所づくり」を目標に掲げたこのプロジェクトでは、食事の提供だけでなく、学習支援や遊びの時間を学生と子どもたちがともに過ごしている。

「30人ほどの学生が参加しています。みんな子どもと接するのが好きで、何かしら地域貢献がしたいという思いを持っています」と話すのは、代表の岩根拓海さん。このプロジェクトが動き出すまではうまくいかないこともあったが、周りに相談しながらここまで来たと語る。福知山市社会福祉協議会の武田彩さんが話を続ける。

「もともとは学生の有志が市内の飲食店に直接交渉して開催していたのですが、どのように継続していったらいいか悩んでいるようでした。そんな時、「どうしたらいいかわからないのでアドバイスをください」と岩根君から相談があったんです。そこで市役所とも協力し、社協、学生で何度も話し合いの場を持ったんです」話し合いを重ねる中で、学食を運営し、



4者対談

コメンテーター

田中智子さん (佛教大学社会福祉学部准教授)

当事者としての 家族をどう生きるか?

「加齢や障害などにより、何らかのケアを必要とする方」の家族は、それらの方々を支える存在としてとらえられがちです。しかし同時に、家族の方々は、自分の人生を豊かに生きる、かけがえのないひとりの人です。今号では「当事者としての家族」が抱える思いに光をあてます。



京都の医療的ケアを考える会 KICK メンバー

金野大さん
Hiroshi Konno

三上規世さん
Noriyo Mikami

大学院生
富田真生さん
Masao Tomita

元ヤングケアラー
朝田健太さん
Kenta Asada

家族の他に信頼できる人を作ろう

富田 きょうだいの立場からすると、親には、親なのかケアラーなのか、役割を自覚してほしいです。親は家族なんだから全部やってそれでよい、と思っていると、きょうだいも「家族だからやらなきゃいけない」が当たり前になってしまいます。朝田 そうですね。ケアラーと名前が

見えにくい 家族の生きづらさ

金野 小学3年生の長男は痰の吸引という医療的ケアが必要でスクールバスに乗れないんです。誰かが毎日送り迎えをしなきゃいけないと、妻はフルタイムで働けない。家族同士で愚痴は言っていたけど、他の家族も集まって、問題を誰に訴えたらいいのかを声にしていくと家族の会をつくりました。三上 小学2年生の長女が導尿が必要で、私が幼稚園へ通ってトイレの度に介助していました。私が行けない時は訪問看護師さんを自費で派遣して……。これまで、ひとつひとつ問題をクリアしてきましたが、今ぶつかっているのが、児童館での排泄介助（見守り）です。本人が自己導尿できるように、今年度から学校ではやってくれるようになりましたが、児童館でトイレに誘って、もしオムツが汚れていたら替えて欲しいとお願いしたら「対応できない」との回答で、児童館を利用する際は必ず前日までに連絡もするよう依頼されました。他の子たちと同じように、行きたい時に自由に利用したいだけなのに。富田 僕の兄は、重度の知的障害を伴う自閉症です。当事者の家族の生きづらさは、周囲から見てもわかりにくい。家族の誰かの生きづらさは、想像がおよぶ場所がないんだと思います。朝田 私の祖父は認知症による妄想が激しく昼夜逆転の生活でした。母が主介護者だったので、私が病院に祖父を連れていくと「お母さんのお手伝いしてえらいね」と。病院の専門職の方が



三上規世さん
京都の医療的ケアを考える会 KICK メンバー。主婦。1971年生まれ。小学2年生の長女は排泄に関して医療的ケアを必要とする。夫と5歳の二女の4人家族。

三上 うちの下の子はまだ5歳ですが、言葉にしなくても雰囲気でお姉ちゃんの世話をしなくちゃ。私も「家族の一員として、お姉ちゃんを頼むね」と思っています。金野 うちの小1の二男は、毎日爆発しています。どうしても毎朝導尿や食事でお兄ちゃんに夫婦がかかりきりになってしまうので、二男にも申し訳ないという気持ちがあります。お兄ちゃん

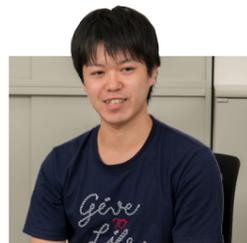


朝田健太さん
男性介護者を支援する会 TOMO のメンバー。1985年生まれ。2007年から2017年までの10年間、認知症の祖父を、母とともに介護。その経験をからヤングケアラー（若くして家族の介護をするようになった人）啓発の活動を行う。

らもそう言われていたので、自分自身でも「自分は手伝ってるだけだ」という認識でした。でも、2012年に「男性介護者を支援する会」に初めて行った時に「君のやっていることは介護そのものだよ」と指摘されて、その場で初めて気づきました。それまでのよくわからないしんどさに名前がつくと知って、少しだけ楽になりました。富田 そうですね、名前って必要ものなんだなと思います。最近、障害者のきょうだいは「きょうだい児」と呼ばれることを知りました。

そのしんどさに名前をつける

田中 無償で介護する人は一般的に「ケアラー」と呼ばれます。ただ、この言葉を障害のある子どもをもつ親御さんにお話したら「自分がケアラーと呼ばれるのに抵抗がある。親だから」と言われたことがあります。三上 はい。親の立場からすると、子育てとケアってきつちり線引きできる感じではありません。金野 胃ろうで栄養を体に入れるの



富田真生さん
大学院生。1994年生まれ。5歳年上の兄が、重度の知的障害を伴う自閉症。2年前にきょうだいに障害がある人が集まる会の存在を知り、通うようになった。父母と兄の4人家族。

んことは気にせず、できるだけ二男は自由に生きてほしい。長男はうまくサービスを利用して、社会の支援でなんとか生活していけたらなと思っています。

富田 うちの家族の場合では「親も自分もみんなを兄を支えるんだ」と団結した反面、今になって家族以外の人は信用できない部分があるんです。結局、家族を一番信用してしまう。「家族が愛情をもって接している」と美談に映るでしょうが、家族の他に信頼できる人を作ることを怠っていたともいえる。自分も兄と精神的に強い結びつきがあるけれど、美談ではなく、「そうやってしまったな」という感じが強いんです。

朝田 私も10年間の介護は、どちらかといえばやむを得ずやっている面が強かったです。夜の徘徊など、親だけでは介護できない領域をまかっていたんですが、祖父が何年生きるかわからないけれど、自分が望む仕事につけるのか？ 祖父が亡くなったら人生を立て直せるのか？ とても不安でした。僕は介護をしながら非正規雇用で働いていましたが、そのリスクを誰も負ってくれません。厚生年金に加入できず



利用者様の
たくさんの笑顔を引き出したい

特別養護老人ホームまごころ園 ユニットリーダー ● 後藤 裕生さん

◆この職場を選んだ決め手は？

家から近かったから（笑）。あとは施設が新しく、綺麗なので印象が良かった。

◆職場のいいところ

ユニット型の特養なので、自宅のような環境でケアを行うことができ、利用者様とより親しく接することができる。

◆好きな言葉

「笑う」。笑っているほうが生きてて楽しいですよ。いつも笑顔が心がけています。

【施設名】特別養護老人ホームまごころ園
【場所】〒611-0013 京都府宇治市菟道藪里 11-3
【URL】https://www.micro-fukushikai.or.jp
【TEL】0774-28-5737 【FAX】0774-28-5738

「進路を考えた時、特にやりたいことがなかったんです。でも、人と接するのが好きだったので、それを仕事にできないかなと思っていました。そんな時、祖父が認知症になってしまったこともあり、介護の世界に興味を持つようになり「施設で5年間勤務した後、まごころ園で働き始めて4年。現在はユニットリーダーとして、利用者の個性やリズムに合わせてケアを行い、日々の生活をサポートしています。」

「利用者様の中には、環境が変わることで不安に思う方もいらっしゃると思います。自宅み

たいに過ぎてしてもらえないように、その方にあつたケアを心がけています。その中で大切にしているのは「笑顔」とのことです。

「施設で行うイベントでも、自分が楽しめない相手も楽しくないというか、そうするのは相手に伝わってしまいます。だからまずは自分が思い切り楽しんで、利用者様にも楽しんでもらう。それで、普段はあまり笑顔が見られない方から笑いを引き出した時はやっぱりうれしいですね」と素敵な笑顔で語る後藤さん。これからもたくさんの笑顔の花を咲かせていきます。

国民年金だけになっても、自分がちゃんと働けなかったから悪い。自己責任だ、となるのは、不愉快なところがあります。

金野 うちも訪問看護やヘルパーさんを利用してはいますが、どうしてもうちの子を理解してくれる特定の人がお願ひしてしまう。慣れた訪問看護師さんが辞めると、すぐに代わりも見つからない。富田さんのおっしゃっていたように、外に信頼ができる人を作っていく努力は続けたいと思いません。

田中 専門職を育てるのも大事な事かなと思います。子どもさんのことを分かってもらう時に一介の個人に委ねるのではなく、社会に委ねる、社会とともに分担していくという意識が大事で、その条件を作っていくのも今は家族に委ねられていると思います。社会の側にも、ケアの「一番の責任は家族」という意識があるので、身近な専門職からの働きかけが必要です。

知ってほしい、そして想像してほしい

富田 親しくない人に「きょうだいいるの？」と話題を振られて、話し辛いところがあります。同時に思うのは、そもそも自分のきょうだいについて話せない社会ってどうなの？と。きょうだいは「あなた自身の障害じゃないよね」という認識だと思っただけで、僕はきょうだい児は当事者だと思っただけです。こういう立場の人がいるという想像力がこの社会にあつたらなと思います。きょうだい児という言葉が



金野大さん
京都の医療的ケアを考える会 KICK 会長。1983年生まれ。小学3年生の長男は二分脊椎で生まれ、医療的ケアが必要。2018年、障害のある子どもをもつ家族とともにKICKを立ち上げる。妻と小学1年生の二男の4人家族。

もつと認知されるようになり、きょうだい児の視点にもっと目が向けられるようになったら、それだけで楽になる部分は大きい。

三上 一人ひとりの意識をどう変えたい作ったりしていくかです。私は子どもをできるだけのいろんな場所に連れて行きます。それで厄介なことも起こるけれど、日常的に関わっているうちに、周囲の人も障害のある子を当たり前に受け入れて優しく接してくれるようになると思っています。

金野 うちの子も特別支援学校に通っていますが、月に1回程度は地元の小学校に交流で通っています。地元の子どもたちに「こういう子も一緒に地域で生きているんだよ」と知ってもらうのが目的です。まずはこういう家族がいることを知ってもらおう努力をしなければいけない、と。

朝田 確かに、存在を知ってもらわないと想像力も働かない。時間がかかると思いますが、専門職の方にも知ってほしいですね。「あの家はお孫さんも同居だから安心」なんて認識だと、いつまでもヤングケアラーが置かれる状況が変わらないので。

コメンテーターより

私もあなたも、全員がケアラーである

佛教大学
社会福祉学部准教授
田中智子さん

今回、4人のご家族、ケアラーのお話を聞くことができました。彼らだけがケアラーというわけではなく、「現時点では介護が必要ではないけれど、親や配偶者が衰えてきた」「子育てで悩んでいる」「…生老病死に関わるといいう広い意味でケアをとらえたら、日本に住む全員がケアラーの範疇に入ることができます。」

ケアは、人と人をつなぐ大事な要素でもあり、ケアに関わることの意味が日本の社会の中で大事にされていると思います。家族はこれまで、当事者の代弁者として頑張ってきたけれど、代弁者としての役割と家族自身の当事者性は分けて考える必要があると思っています。こういう生き方をしたことが、しんどいと言っているのも大事ですし、またそれを聞ける社会の側の条件も大事です。

イギリスには「ケアラーズウィーク」があつて、全土の至る所でケアについて話す場所が設けられています。ケアの体験を聞いたり話せる機会がもっとあつてもいいように思います。

また、朝田さんの指摘した介護



「諸外国に比べると、日本は介護手当が低く、育児や介護休暇では長期にケアが必要な人の場合には対応できない。家族が自分自身の人生を立てていく社会の仕組みの在り方と、ケアをする家族を支える仕組みの両方が必要だと感じました。」

みなさんの言葉のとおり、知ることこそが大事です。いろいろな形で、当事者の家族が置かれた状況を伝えていく必要性を感じました。

京都府社会福祉協議会からのお知らせ

「社会福祉士受験対策セミナー」のお知らせ

日程 10月19日(土)、11月9日(土)、12月7日(土)
時間 10:00～16:30
会場 京都社会福祉会館 4階 ホール
受講料 24,000円 (3日間分) テキスト代別
講師 伊東利洋氏 (有)いとう総研 取締役
テキスト 見て覚える! 社会福祉士国試ナビ2020

対人援助の基本姿勢・相談面接技術基礎セミナー

日程 南部1コース 10月8日(火)
 南部2コース 10月29日(火)
時間 10:20～16:30
会場 ハートピア京都 3階 大会議室
受講料 会員 5,000円/非会員 8,000円
講師 黒木保博氏 同志社大学 名誉教授

コーチングを活かしたアンガーマネジメント～ステップアップ編～

日程 10月24日(木)
時間 10:30～16:00
会場 ハートピア京都 3階 大会議室
受講料 会員 7,200円/非会員 10,200円(診断料含む)
講師 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定アンガーマネジメントトレーナープロフェッショナル国際コーチ連盟(IICF)プロフェッショナル認定コーチ 井上泰世氏 (株)ナースハート 代表取締役

福祉リーダーの極意を学ぶセミナー 久田流「リーダーシップ論」

日程 10月30日(水)
時間 10:20～16:00
会場 ハートピア京都 3階 大会議室
受講料 会員 7,420円/非会員 10,420円 (テキスト代含む)
講師 久田則夫氏 日本女子大学人間社会学部 教授
テキスト 福祉リーダーの強化書

福祉職場におけるケース記録の書き方セミナー～事実と判断を区別した書き方・使い方～

日程 北部コース 11月27日(水)
 南部1コース 11月18日(月)
 南部2コース 12月5日(木)
時間 9:50～16:00
会場 ・北部コース 市民交流プラザふくちやま 3階 市民交流スペース
 ・南部1コース ハートピア京都 4階 第4・5会議室
 ・南部2コース ハートピア京都 3階 大会議室

受講料 会員 5,000円/非会員 8,000円
講師 岡本匡弘氏 京都保育福祉専門学院 学院長
 ※詳しくは、下記までお問い合わせください。
問い合わせ先
 福祉人材・研修センター
 TEL.075-252-6296
 http://www.kyoshakyo.or.jp/event/

宇治市介護・福祉職場就職フェア

宇治市内で仕事をお探しの方、
 福祉の仕事に関心のある方ならOK!
未経験や中高年の方、転職をお考えの方大歓迎です!

宇治市内で高齢・障害者事業所を
 運営する**14法人**出展!
未経験者・非常勤パートの求人もあります

日程 9月29日(日)
時間 13:00～16:00
会場 宇治市生涯学習センター 第1ホール
内容

現役職員のホンネが聞ける! //

就職応援セミナー

13:00～13:30

合同就職説明会

出展法人の個別面談

就職個別相談

13:30～16:00

問い合わせ先 福祉人材・研修センター
 TEL.075-252-6297

●本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

<http://www.kyoshakyo.or.jp>

京都府社協

検索



本紙は、共同募金の
 配分金によって
 つくられています。

福祉事業を始めるなら

賠償責任保険は必須です!

福祉事業者総合補償制度

「まごころワイド」をおすすめします。

充実の賠償責任補償制度、
 安価な傷害見舞金補償制度など
 必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

福祉専門チームによる安心の事故対応、京都市社会福祉協議会、
 京都府社会福祉協議会が提供する福祉の現場に合った内容です。

詳しい補償内容はこちらまで

福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店

京都の総合保険代理店 **S.R.M. 株式会社 エスアールエム**

専用TEL **075-822-8613**

福祉の保険 ホームページ www.srm-net.co.jp/smile/

引受保険会社: 三井住友海上火災保険株式会社

この広告は保険の特徴を説明したものです。
 詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

181-10-1111

ボランティア活動には「ボランティア保険」
 イベントを開催される際には「福祉行事保険」も併せてご利用ください。